

2016年7月30, 31日 中央アルプス中田切川大荒井沢  
メンバー ; L谷内、朝倉、久保、高橋、宮坂 (明)

中央アルプス中田切川支流大荒井沢で夏合宿を行ってきました。下流部はやや単調な溪歩きで疲れましたが、曇りの滝を過ぎた後半部は花崗岩から成る滝が次々と楽しめ、巻道も含めほとんど人跡なく自分たちでルートファインディングを要し長い行程ともあいまって充分堪能することができた二日間でした。

・7/30 くもり～晴れ～一時夕立～夜は満天の星空

AM5 時茅野発 - 6 時菅の台で宮坂さんと合流 - 池山林道終点に車1台デポ後中田切林道ゲート前に AM7 時～7:10 発 - 歩き始めてしばらくして林道脇斜面にクマ発見 - 8:20 荒井沢出合に懸垂で降り立つ - 8:35 中田切川の遡行開始 - 9:24 煙りの滝ゴルジュ帯。左岸を高巻くが容易。長い河原歩きの後 10:50 小さくて暗い感じの小荒井沢出合着。水量減じた中1時間くらいした 12 時横綱の滝着。右岸を小さく高巻く。単調さゆえ大分疲れてきた 13:30 ようやくといった感じで大荒井沢出合。今日はどこまで行けることやらと歩みを再開し大岩からなる小滝をいくつか巻き越えてそろそろ限界かなという 15:20 突然という感じで曇りの大滝に出くわす。3段 120m といわれ静かに水を落としどっしりと威厳のある立派な滝である。時間的、体力的にこの先の高巻きへの突入は無理で、なんとかテンバを確保しタープを張って薪を集めたあたりから雷とともに早めの夕立に見舞われるが短時間で上がってくれたき火もおこせ楽しい夕餉で疲れをとる。夜は満天の星空であった。

・7/31 晴れ

AM4 時起床 - 5:30 発。いきなりの大高巻きの開始である。岩壁帯基部を左斜め上につめ支尾根を左に大きく回り込んで草付きルンゼ状を直上しコルに至る。コルから先は容易に沢床へ (6:53)。核心部を無事クリアでき一安心。この先はいよいよ沢登りという感じでナメや小滝が連続して現れてくる。花崗岩の白さとキラキラした水しぶきで明るい沢であったが意外にぬめりやすく泊まり装備を背負っていることもありロープやお助けひもを活用しながら次々とこなしていく。もう滝はお腹いっぱいのごちそうさまという感じで最後はヤブ漕ぎなくお花畑の中をひと頑張りして 11:13 空木平避難小屋に到着。皆で握手をかわし足回りをはき替え大休止。見上げる空木山頂は遠くに感じられ次回の楽しみとして 11:40 池山尾根下山へ。14:50 池山林道終点デポ地着。入山口の車を回収した後こまぐさの湯で汗を流し解散となった。帰路の中田切林道を走行中にも焦って疾走する感じのクマを目撃。我々がクマ達のテリトリーに入って遊ばせてもらってるわけで驚かせてすみませんでした。